

学びやすい学校の環境づくり

皆さんと学び考える
ワークショップ

尼崎市

1. 本日の開催趣旨（ねらい）

総合計画
みんなの「こうありたい」が
重なり合って「ありたいまち」へ

【施策 03】学校教育
教育の充実で子どもの
生きる力をはぐくむまち



**学校教育の充実は
最重要課題**

1 人が育ち、
互いに支えあうまち

3 地域の資源を活かし、
活力が生まれるまち

2 健康、安全・安心を、
実感できるまち

4 次の世代に、よりよい
明日をつないでいくまち

行財政改革計画
(未来へつなぐプロジェクト)
従来の減量型改革から、
「都市の体質転換」を目指す
現役世代の定住・転入を促進

「学びやすい学校の環境づくり」をテーマとし、具体的には「子どもの生きる力や学力向上」、また市民の皆さまや市議会から多く要望を受けている「学習環境の整備（空調、中学校給食）」について、現状や課題を共有し、今後の方向性について、ワークショップや意見交換を行います。

本市ではこうした取組を通して、総合計画に掲げる「ありたいまち」の実現に向けた政策形成を進めてまいります。

2.

「学び」へのこれまでの取組と今後の方向性

(1)これまでの主な取組

基礎的な知識や技能を身につけることを目的に、「学力向上クリエイト事業」を中心に計算力・言語力向上事業など様々な施策を展開し、その結果、基礎的・基本的な学力の向上に一定の成果が見られています。(資料「あまっ子ぐんぐん」を参照)

今後は、活用する力を伸ばしていくため、平成 25 年度からは「活用型支援」を追加し、習得した知識や技能を活用して課題を解決する力を育成する取組を進めています。

【平成 26 年度の主な取組】

事業名		内容
学力向上クリエイト事業（各学校のニーズに応じた施策に対応）		
学習支援	基礎型	・ 補助教員による同室複数指導の実施 ・ 放課後学習や土曜日、長期休業中の学習支援
	活用型	・ 少しレベルの高い学習への挑戦等
教員指導力向上支援	基礎型	・ 学習方法等の研究
	活用型	・ 先進校への調査研究等 ・ 小中連携に係る研究
地域人材活用支援		・ 放課後学習の支援等
その他		・ 家庭学習の手引き、学習教材、地域への啓発資料等の作成
高等学校通学区再編に伴う進路対策事業		中学校3年生学力調査(2回)
		学習支援(中3対象)
		進路学習ノート(全学年)
		公立高等学校合同説明会
		学区拡大と新しい選抜制度に対応
こころの教育推進事業		小学校にも拡充(H26～) 「生命の尊重」「規範意識」の育成
社会力育成事業		中学校9校に拡充(H26～) 地域や社会に参画し行動する力の育成

(2)今後の方向性

更なる学力向上に向けて、自ら学習する習慣を身につけ、活用型支援を充実させるとともに、高等学校の学区再編に対応できる学力の育成に取り組んでいきます。

また、家庭における計画的な学習や予習、復習に課題が見られることから、各学校における学習支援等で学習の仕方を学ばせるとともに、宿題の出し方の工夫等により家庭における自主的な学習の定着を図っていきます。

あわせて、学びの基礎力とも言える、「生命の尊重」「規範意識」の育成や社会性・自立性を育むことも重要であり、こころの教育や社会力育成についても取組を進めていきます。

3.

学びやすい学校の環境づくりにおいて とりわけ大きな財源が必要な施策

(1) これまでの取組

小学校・中学校耐震化	平成27年度未完了予定 (H25:70%、H26:80%、H27:100%)
小学校給食室整備(内容充実・衛生対策)	小・特別支援学校 30校/43校が整備済み
中学校弁当(昼食改善・子育て支援)	平成27年7月に全19校対応予定
空調整備(航空機等騒音対策)	小学校 15校/42校、中学校 8校/19校が設置済み

(2) 空調と中学校給食を取り巻く状況

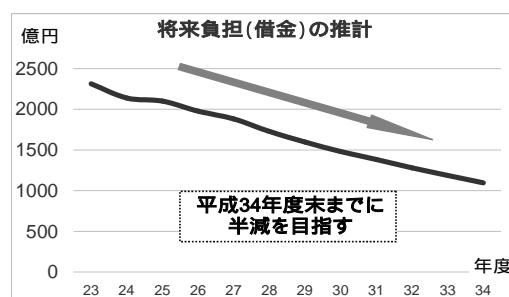
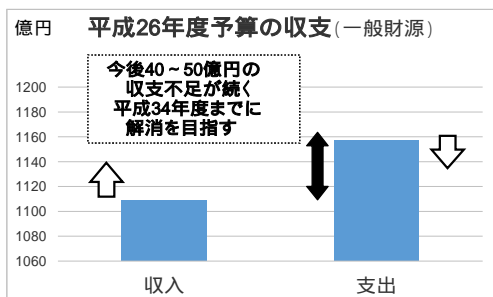
空調整備	中学校給食
<ul style="list-style-type: none"> 夏場の猛暑日の増加 熱中症等の健康面への影響 勉強に集中できない等学習面への影響 空調整備有無による学校間格差 	<ul style="list-style-type: none"> 昼食を菓子パンで済ますなど、栄養面での懸念 働く保護者世帯への支援 望ましい食習慣など食育の推進 導入都市の増加(県内54%、全国84%)

〔参考〕施設整備等の試算：あくまで一定の条件での超概算金額。今後変更となる場合があります。

	対象・方式	初期投資 (償還イ-ジ)	維持経費 (年間)
空調整備	小学校 27校/42校、 中学校 11校/19校	約26億円 (約1.5億円/年)	約1.4億円
中学校給食	各校の給食室で調理する方式	約35億円 (約1.4億円/年)	約5.1億円
	給食センターで調理し配送する方式	約25億円 + 敷地	約4.3億円
	民間給食センターで調理、弁当配送方式	約3億円	約3.4億円

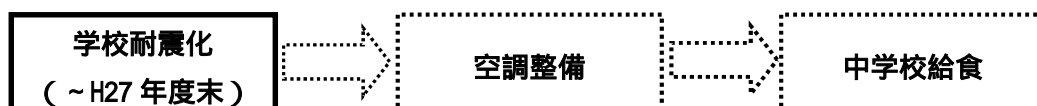
平成26年度の新規・拡充事業の事業費(一般財源)の合計：約2.4億円

〔参考〕収支状況と将来負担



(3) 空調整備と中学校給食の今後の方向性(議論のたたき台)

空調整備	中学校給食
<p>健康面や学習面への影響、夏場の暑さ対策を進めるため、学校間格差の解消に向けてできるだけ早く、整備を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校耐震化改築校：工事にあわせ整備 他の学校：対象教室、整備年度等を整理の上、整備を図る。 	<p>成長期の健康の保持増進に栄養バランスのとれた食事を摂ることや、子育て支援の観点から、中学校給食の実施に向け、財源確保や実施手法の検討を行う。</p> <p>給食実施までの間は、弁当事業を継続。</p>



4.

今日の意見交換 【ワークショップ】

(1) 学習環境（空調や中学校給食）の整備やその順番について

整備に必要な財源を捻出するために見直す・先延ばしする事業などについてのご意見は、時間の関係上、かつ今後市として検討しますので、本日は議論の対象としません。

(2) 子どもの生きる力や学力向上について

グループに分かれて、意見を出しあってください。



グループで出た意見を発表してください。市長・教育長がお答えします。

ワークショップとは

講師の話を参加者が一方的に聞くのではなく、参加者自身が討論に加わったり、体を使って体験したりするなど、参加体験型、双方向性のグループ学習。



【お問い合わせ】

キャラバン全般については...	企画財政局政策課	06-6489-6138
教育関連の施策については...	教育委員会事務局	学校教育課 06-6489-6727
	学校保健課	06-6489-6741、施設課 06-6489-6718